

目標達成計画

作成日: 平成26年2月 10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36 (14)	「職員の言葉遣いが気になる」という家族アンケートでの気付きがあった。毎朝、申し送り時に意識を高めるために声掛けや尊厳を持った言葉遣いに配慮するという文言を言っているがなかなか実践できないでいる。	周囲で聴いている側、声掛けを受けるご本人が心地よいと思える言葉遣いができるようになる。	上司はもちろんであるが上司のみでなく、その場その場で職員同士も気付きがあればお互いに声掛けし合う。勇気を持ちながら、自分では気付かない部分を教え合う。	6ヶ月
2	33 (12)	実際に看取りを経験したことがない。25年度は看取りになるのではないかと思える事例が3件あった。看取りの状況はいつ来るかわからない。急な事柄にも対応できる環境作りが必要。	ご家族、職員共に看取りに対する意識を持ち、考える機会を作る。	運営推進会議での議題に看取りをあげ、できれば実際に看取り介護を経験された施設の職員に話をしてもらいたい。職員へは看取りに対する正しい理解を深められるように研修での話や職場内研修、普段から他事業所での経験談を伝えていく。	6ヶ月
3	2 (2)	地域との交流が滞りがちになる。	施設側より積極的に地域に出向く。	老人会の活動に管理者のみならず、現場職員も出向けるようにすることと地域支援の職員と連携し以前行っていたようにサロンへご利用者と一緒に参加することを再開したい。	12ヶ月
4	45 (17)	問題点ではなかったが、もっと楽しめる入浴の環境作りをしたいと思う。	年2回の「菖蒲湯」「ゆず湯」に加え、楽しみと五感に訴え刺激を与える入浴空間にする。	花を浮かべての入浴提供する。浴室内、脱衣場に目で楽しんでいただくよう花や壁面を検討し環境設営を行う。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。